

## 志方西小学校区オープンミーティングのご意見の概略

R4.12.17 (土)

### 保護者の方の意見

- 子どもの数が減少している現状のままでは良くないと思う。人数が少ないと様々な考えに触れる機会が少なく、様々な子どもとふれあうことが子どもの成長に繋がると思う。志方西小学校には長い歴史があるが、これからの10年、20年を考えていく必要がある。
- 仮に志方西小学校が小規模特認校を導入するとしたら、どれだけの転入希望があるか調査してみるのも良いと思う。

### 地域の方の意見

- 横大路地区では田園まちづくり制度を導入し、子どもの人数が増えてきている。永室地区でも来年度から同制度を活用し取り組んでいくので、効果が出れば十分に小学校を維持できる児童数になると考えている。その点を考慮に入れた児童推計を行い、もう少し長いスパンで考えてほしい。
- 様々な方の意見を聞いて、時間をかけてゆっくり考えていくべきである。
- 学校の適正規模とは何をもって「適正」であるか、一概に定義できないのでは。
- 小規模校は先生がひとりひとりの子どもの事を良く分かってくれている。他者と競争する力は育ちにくいかもしれないが、ここぞという時に頑張れる力は育っていると思っている。都市部の不登校の子どもが志方地区へ転入し、元気になったという例もあると聞いている。様々な育ち方をゆったり見守る環境も必要ではないか。
- 仮に統廃合等でまとめたとしても、コミュニティの力がなければ、またいずれ子どもの数が減少して同じ事を繰り返すだけではないか。様々な形で人を呼び込み、住み続けられるような政策や、規制の緩和等に取り組んでほしい。
- 市街化調整区域の見直し等、市が国にはたらきかけてほしい。
- 都市計画に関しては、50年程前の法律による規定が現代社会に適合しているのか疑問である。
- 市としてはマクロ的な投資の計画が重要となってくると考える。
- 学校のあり方については、今後、町内会として意見をまとめていきたいと考えている。
- 当事者である保護者の関心が少ないのでは。地元の関心がないことが、この地域の課題であると思う。地域住民が関心をもってもらうにはどうしたらいいかを考えてほしい。